

本格的な雨期に入り、蒸し暑く、暑い日が続きますが、皆様如何お過ごしでしょうか。

本使は、7月は健康管理休暇で日本に一時帰国していましたが、東京はとても暑くて、しかもクールビズのために行政機関では室温が28度に設定されているため涼しいところが無く、先日セネガルに戻ったときには、セネガルの方が過ごしやすいように感じました。

今回の帰国では最初に外務省での中東アフリカ大使会議に参加しました。中東、アフリカ諸国に駐在する日本の大使が一同に会して、中東やアフリカにおける日本の外交の進め方について意見交換を行いました。大使会議に引き続き官邸に総理を表敬したり、経済界との意見交換も行いました。経済界との会合では、セネガルでのビジネスに関心を持つ企業の方々から自己紹介を頂きました。本使が予想していた以上に多くの企業からセネガルとのビジネスへの関心が表明されたので、うれしく思いました。

着任以来、本使としては、経済協力、ビジネス、交流の分野でバランスよく二国間関係を発展させるべく努めていますが、特に留学やビジネスのために一人でも多くのセネガル人が訪日できるようになれば良いと考えています。今回休暇の合間を縫って日本で活躍している多くのセネガル人に会いましたが、本使がお会いした若いセネガル人達は医療、研究やビジネスにおいて素晴らしい活動をしており、本使としてはうれしく、頼もしく思いました。6月に本使が参加したダカールでの日本アニメ祭りで日本に関心を持っている多くのセネガル人の若者達と会って人的交流の拡大の潜在力を感じました。今のところ日本に行くためには国費留学やJICAの実施するABEイニシアティブ等のスキームがありますが、限られており、それ以外にも特定技能研修といった枠組み等も使ってセネガル人の若者が日本に行けるようになればと考えています。そのためには先ず当地での日本語教育の強化が必要です。これまでの調整の結果、既にCESAGという大学において日本語のコースが始まっていますので、大使館としてはこうした当地における日本語教育を更に支援して行こうと考えています。

本使が日本に帰国した直後に、サル大統領が来年の大統領選挙に出馬しない意向を表明しました。また、本使が帰任する直前に野党のソンコ党首が逮捕され、彼が党首を務める政党が解散させられました。4日現在、国内では治安の観点からインターネットが大きく規制されており、私達の日常生活に大きな支障が出ています。ソンコ党首の逮捕以降、ダカールでは6月の時のような大きな衝突は起きていませんが若干の緊張はあります。これから来年の大統領選挙に向けて予断を許さない状況が続いていくと思いますので、邦人皆様の安全の確保のために、しっかり情報収集をして適時適切に状況提供を行っていきます。